

アセスメント(課題分析)方式に関する重要なお知らせ

“MDS”方式の終了 “インターライ方式”へ転換を！



なぜ、インターライ方式に転換するのか

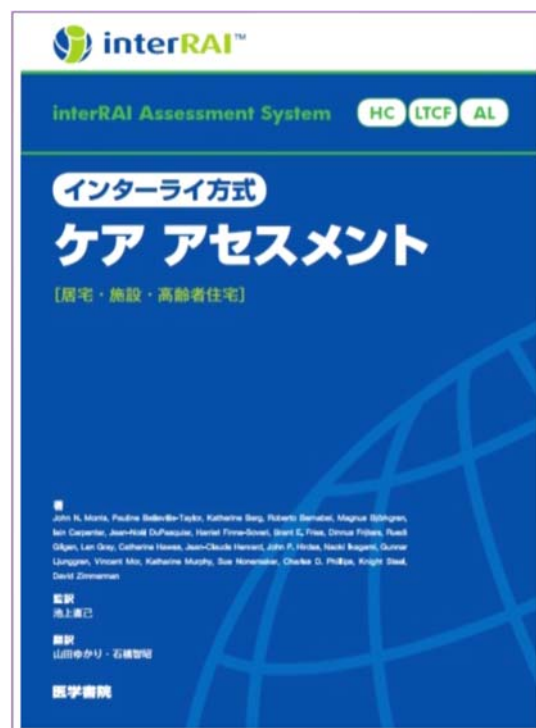
- ・2010年に、国際的な高齢者ケアの専門家が構成する「インターライ」が、『インターライ方式』を開発しました
- ・2013年に、インターライ日本は、施設版(MDS2.1)と在宅版(MDS-HC2.0)を統合した『インターライ方式』を発刊しました
- ・根拠に基づいたケアプランを作成し、居宅・施設の共通なデータベースを構築することが広く求められています

MDS ユーザーはインターライ方式へ移行してください

- ・**インターライ方式の発刊に伴い**、インターライ日本は各ベンダーに対して、施設版(MDS2.1)・在宅版(MDS-HC2.0)・予防版の**MDS ソフトの利用に対する著作権者としての責任を停止することを2014年3月に通知**しました
- ・インターライ日本が実施する新任の介護支援専門員者に対する**研修はすべてインターライ方式**によって行われています

インターライ方式搭載の介護ソフトについて

- NPO 法人 ASPIC 提供のクラウドサービスの他、以下の介護ソフトにインターライ方式が搭載されています
 - ・**ND ソフトウェア株式会社「ほのほの NEXT」**
- ・インターライ方式の開発を希望されるベンダーは右記のサポートセンターでお問い合わせください



特定非営利活動法人
インターライ 日本サポートセンター

TEL: 011-222-3676
E-mail: info@interrai.jp
〒060-0004

北海道札幌市中央区北4条西6丁目1番1 毎日札幌会館 3F 一般社団法人北海道総合研究調査会内